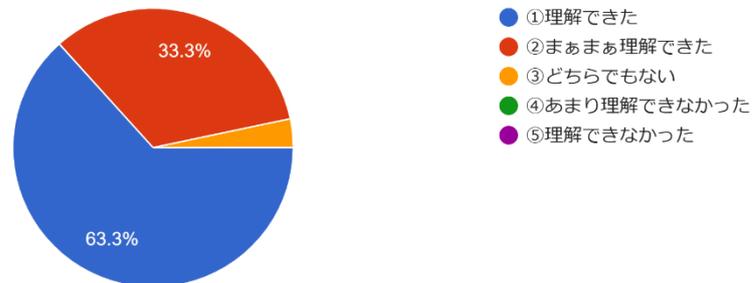


2. 1の理由を教えてください。

- ・今よりも良くしたいと、患者や職場での出来事から学ぶ姿勢の大切さを改めて感じた。
- ・仕事やプライベートにおいての考え方、態度、心構え等の学びを得た。
- ・岸田先生が真剣に患者と向き合い、患者の生の声をしっかりと聞いたからこそ、先生自身が学ばれたことが、お話しの中に詰まっており興味深い内容だった。
- ・対象者を満足させることの難しさのヒントが聞けた。
- ・人間力についての話が聞けた。
- ・同じ対応でも相手の捉えが違うところが興味深いと思った。
- ・いかに効率化するかが重要な要素となってきた昨今、効率化してはならないことがあること、仕事に取り組むにあたり、専門家としていかに研鑽の視点を持つかの重要性について、改めて認識することができたから。
- ・日々の自分を振り返る場面がとてもしん山あり、1時間半があつという間だった。
- ・皮膚科医の治療を通して、患者の身体面だけでなく心理面にも目を向け長期にわたる体験談を聞くことができた。
- ・今までにない目線で物事を見る視点が見えた。

3. 今回の講習会の内容について理解できましたか。

60件の回答

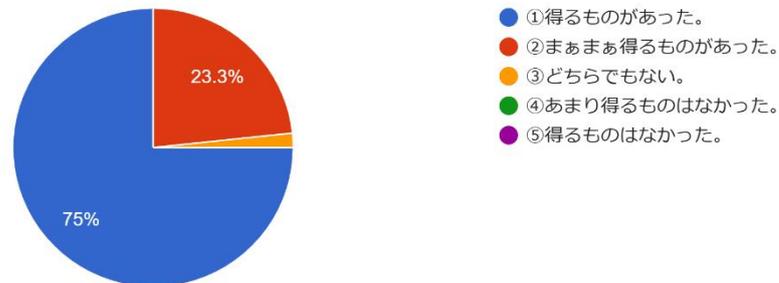


4. 3の理由を教えてください。

- ・患者さんの満足度の個人差を理解し接すること。
- ・どんな事からも学べることはあって、学びを得ようとする気持ちが重要であるということ。
- ・満足してもらえなきときは、納得してもらおうという、最初の言葉にハッとしました。
- ・友達関係と信頼関係は違う、目からウロコでした。
- ・患者との関わりの中で役立てたい。
- ・先生の説明がわかりやすかった。(事例が良かった、馴染みのある内容で良かった)
- ・皮膚の疾患に隠れている原因を見逃さないために自分たちが知識をつける事や、プロ意識、責任、思いやる心を持つことの大切さを再認識する事ができた。
- ・日常の自分をいろいろな視点から見直す事ができた。
- ・患者の満足度は、自分の満足度とイコールではなく、信頼度が必要になることが理解できた。

5. 講演会を通じて、自分に得るものがありましたか。

60件の回答



6. 5の理由を教えてください。

- ・自己の仕事に取り組む姿勢を見直す良い機会となった。
- ・心配り、目配り、心配りが大切なこと。
- ・日々の些細なケアでも、患者から丁寧とか安心できるとか信頼できるなどと言ってもらえることがある。自分としては当たり前に行っていることだが、モチベーションにもなり応えられるように伸ばそうと耐えることができる。患者とのやり取りの中から、人生の勉強もさせてもらっている。そんな看護の醍醐味をこれからも感じながら仕事ができたらと思う。
- ・日々の業務の中でもプロとして気をつけるべきことがたくさんあると感じたため。
- ・時間はみんな平等にあり、その使い方によって質の良いものかどうか決まるという事を普段から気が付いていても、見て見ぬ振りや言い訳と自覚しながら使っていた。
- ・責任を持って行動する事は、言い訳をしない事だと痛感し、日々の自分を反省した。
- ・ものの見方、考え方で、自分を成長させ続ける事ができると学ぶ事ができた。
- ・自分と向き合い、覚悟を持って行動する事が大切だと思えた。
- ・看護師として勤務する上で改めてモチベーションが向上した。
- ・私自身やらなければならないことを後回しにして、期限直前で焦ってしまう。今回の講義で改めて自分の取り組み方を見直すきっかけになった。
- ・考え方の視野が広がったから。

7. 今回の講演会の感想や意見があればご記入下さい。

- ・先生の現場経験から、医療職に携わる私達のプロフェッショナルとしての責任、また患者さんとの関わりには、患者個人の考えを尊重した治療が満足度に繋がることを学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・看護師という職業の前に、人間としてどう生きるのかという視点で、自分を見つめ直すきっかけになった。
- ・患者さんから学んだ事。という表現が印象的でした。自分も、今後更に仕事に励もうと思いました。
- ・このような姿勢でお仕事をされている医師がいらっしゃることを嬉しく思いました。先生のおっしゃる事は全てごもっともでしたが、現代の子にどこまで求めてることが許されるのかなあと難しくも感じました。医療の世界に疲れて退職も考えているのですが、もう少し頑張れるかなという気持ちになれました。